

中央放射線部

新しい大腸検査のご紹介

当院では2019年7月よりCTコロノグラフィー(CTC)検査をはじめました

●どんな検査ですか？

CTコロノグラフィーとは肛門より炭酸ガスを注入し、大腸が膨らんだ状態でCTを撮影する検査です。内視鏡検査(図1)や注腸(図2)のような画像を作成することで様々な情報を得ることができます。

●この検査の良いところは？

術者による差が少なく、内視鏡と比べ低侵襲で苦痛が少なく、検査時間が短いのが特徴です。また大腸に注入するのは炭酸ガスなので内視鏡の挿入が困難な人でも検査が可能です。撮影範囲は腹部CTと同等なので大腸以外の情報も得ることができます。

※病変が疑われた場合、内視鏡検査が別途必要になります。

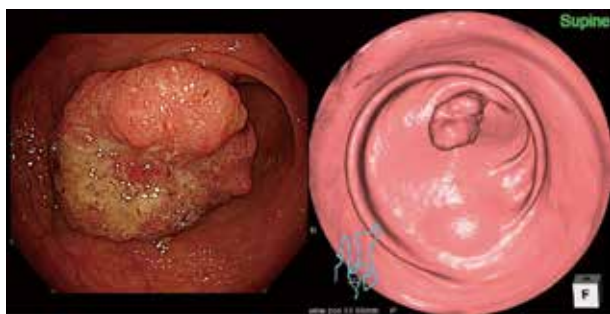


図1.内視鏡(左)と仮想内視鏡像(右)

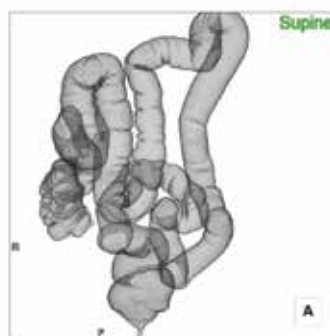


図2.仮想注腸像

【検査の流れ】

消化器内科受診時
CTC検査予約

検査2日前
下剤服用

検査前日
検査食、下剤、造影剤

検査当日
絶飲食
(検査後は食事可)

・検査枠

毎週木曜日 9:00～ 1枠

検査をご希望の方は消化器内科を受診の上、担当医に検査希望の旨をお伝えください。



薬 剤 部

《痔のお薬について》



痔の薬には、**外用薬**、**内用薬**、**注射薬**があります。

外用薬

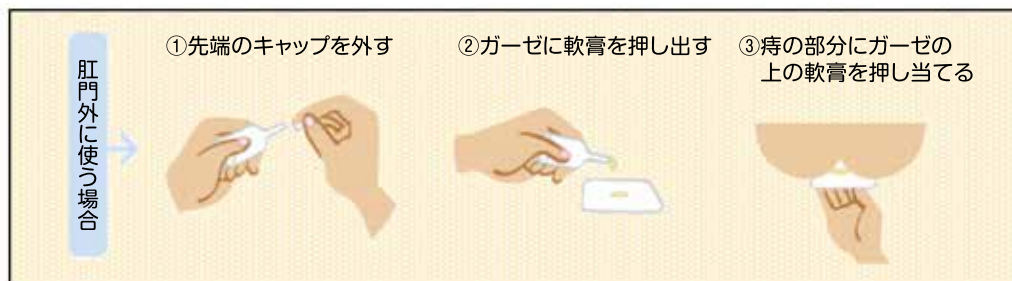
軟膏と坐薬の2種類があり、肛門とその周囲の炎症・かゆみ・痛みを抑えます。お薬によっては抗菌作用を示します。

【軟膏の使い方】 内側の痔には注入して使います。

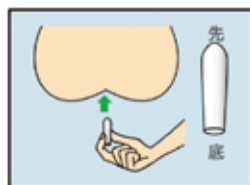


肛門の外側・肛門付近の痔には塗って使います。

清潔な指に、患部をおおう量の軟膏を取り塗布、またはガーゼなどにのばして貼付してください。



【坐薬の使い方】



坐薬の底を持ち、先の方から坐薬が全部肛門内に入るまで、指で十分に押し込んでください。

内用薬



便をやわらかくするお薬や、炎症を抑えるお薬、抗生剤などがあります。

注射薬



内痔核に注射することで、血流を減少させ出血症状を改善するとともに、繊維化を起こし小さくして痔核のはれ・脱出を抑えます。